

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第19回 勉強会

平成28年11月28日(月)から29日(火)にかけて、国土交通省の後援の下、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第19回勉強会」が東京都千代田区の剛堂会館ビル第2会議室にて開催されました。

〈1日目〉

勉強会1日目には 25 団体 46 名(体験参加者、賛助・参与会員等含む)もの多数のみなさまに参加いただきました。

開会に先立ち、(株)まちづくり松山の日野二郎会長より「年末のお忙しい中、多くの方々にお集まりいただきありがとうございます。また、国交省、経産省、内閣府の方々にも参加いただき、ありがとうございます。

最近、中心市街地活性化の意義・意味が捉えにくい時代となっています。このような中、どの様にまちの更新をしていくのが大きな課題となっています。また、新たに空き店舗対策という課題も出てきています。借り手がいなかったら駐車場になってしまう傾向も見られ始めています。

全国的に 20~30 万人都市でも、駐車場だらけの中心市街地になってしまっているケースが多い。このような中、

中心市街地活性化のため、もっとも効率的な投資の仕方、人の育て方を考えるのがまちづくり会社の役割だと考えています。中心市街地は多くの人たちの思い出を作る場所。そこで何かをやり遂げた、勉強したなど、一生懸命に取り組んだ人たちが思い出を作ることができる場所としていく必要があります。ハード整備はもちろんだが、いろんな人たちのステージアップに粘り強く取り組んでいくことがまちづくり会社の役割であります。

また、まちづくり会社には、中心市街地を創っている人と、行政をつなぐという役割もあります。

前回の勉強会では、まちづくり会社の役割をグループ討議し、いろいろな意見が出されました。その中から、今回は多くの意見が出された、「観光まちづくり」と「都市交通政策」について取り上げ、国土交通省からテーマに沿った講演をいただきます。その後、講演内容を踏まえ、グループ討議を行うことで、テーマごとにまちづくり会社の関わり方等について方向性を見出したいと考えています。」とのごあいさつをいただきました。



全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 会長
(株)まちづくり松山 日野二郎 さま

続いて、来賓として国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長の中村健一様よりごあいさつをいただきました。



国土交通省 都市局 まちづくり推進課
官民連携推進室長 中村健一 さま

■国からの情報提供

「中心市街地の活性化に向けた取組みの状況について」

一内閣府 地方創生推進事務局

参事官補佐 菊地 弘之 様



1. 中心市街地活性化制度の概要
2. 現時点で認定を受けている中心市街地活性化基本計画:93市93計画(平成28年6月現在)
3. フォローアップ実施時期とスケジュール
4. フォローアップ指標
5. 平成27年度 定期フォローアップ結果
6. 事例紹介

【玉野市(岡山県)】:歩行者通行量の増加事例

【大分市(大分県)】:施設入込数等の増加事例

【山形市(山形県)】:空き店舗率の改善事例

【富山市(富山県)】:居住人口の増加事例

【函館市(北海道)】:公共交通機関利用の増加事例

「中心市街地活性化施策について」

一経済産業省 地域経済産業グループ

中心市街地活性化室 室長補佐 関 日路美 様



1. 中心市街地活性化法の概要
2. 中心市街地活性化基本計画の認定実績・状況
3. 特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の概要・認定状況
4. 地域・まちなか商業活性化支援事業
5. 平成28年度補正予算 地域未来投資促進事業(商店街・まちなか集客力向上支援事業)
6. 平成27年度 商店街・まちなかインバウンド促進支援事業(中心市街地活性化事業)(採択案件)
7. 中心市街地活性化のための税制措置
8. 中心市街地活性化のための低利融資制度(企業活力強化資金(日本政策金融公庫))
9. 中小企業・小規模事業者人材対策事業
10. 中小企業等支援人材育成事業について
11. 人材育成研修(座学・実地等)の平成28年度の開催実績
12. マッチング・相談会の開催例『まちげんきフェス』
13. シンポジウムの開催例『まちづくりオープン会議』

「まちづくりに関する施策について」

一国土交通省 都市局 まちづくり推進課

官民連携推進室 企画専門官 大水 敏弘 様

1. 都市再生特別措置法の改正
 - ・既存ストックを活用した市街地整備手法の創設(都市再開発法の改正)
 - ・官民連携によるまちの賑わい創出(都市再生特別措置法の改正)
2. 官民連携によるまちづくり
 - ・まちづくりへの民間主体の参画を通じた都市の魅力

の向上

- ・都市再生推進法人の指定要件の緩和
3. 観光まちづくり
 - ・「明日の日本を支える観光ビジョン」
 - ・景観観光まちづくりの推進
 4. まちづくりに関する情報提供
 - ・まちづくり法人国土交通大臣表彰
 - ・まちづくり功労者国土交通大臣表彰
 - ・国土交通省メール配信「全国まちづくり情報」
 - ・国土交通省ホームページのご紹介



■講演

今回の勉強会では、勉強会のテーマに関する国の施策について、国土交通省の方々からご講演をいただきました。

「国土政策から見た観光まちづくりについて」

国土交通省 国土政策局 総合計画課

企画専門官 高柳 百合子 氏



1. 新たな国土形成計画について

～国土の基本構想「対流促進型国土」～

- ・背景の課題認識 ①生産消費世代人口の激減
人口減少⇒どこまで「住み続けられる」?
30万人以上都市圏の激減
サービス提供機能と雇用の消失
- ・背景の課題認識 ②人口移動の「滞留」

2. 国土政策から見た観光まちづくり

～拠点都市の新たな役割「生活・文化・観光」～

- ・日本の国土構造、集落からDDまで1時間以内
- ・通勤・買い物の目的では、より大きな都市に移動

・かつてハレの場だった地域中心都市の今

・雇用、商業の中心はより大きな都市へ

中小都市の強みは？・・・生活、文化、観光

・社会の成熟 人々が求めるものの変化

・東京から地方へ向かう若者(新しい動き)

・かつての地方拠点都市 ⇒ 新しい拠点の考え方

【雇用、経済、商業】の拠点 ⇒ 【生活、文化、観光】の拠点

3. 観光まちづくりについて

～観光まちづくりの着眼点と事例～

・「対流促進型国土」を踏まえた「観光まちづくり」の概念図

・5つの着眼点(最初の一步である着眼点1に着目)

・着眼点1「外からの視点/都市全体を見渡す視点」

～地域資源・既存資産を活用する～

・<事例1> 篠山市での事例

・<事例2> 結城市での事例

「都市交通施策について」

国土交通省 都市局 街路交通施設課

街路交通施設企画室 課長補佐 石井 友博 氏



1. 都市・地域総合交通戦略

- ・国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～
- ・コンパクト＋ネットワークの実現に向けた法律改正(H26)
- ・コンパクト＋ネットワーク
- ・都市・地域総合交通戦略とは？
- ・総合的な都市交通戦略の推進
- ・都市・地域総合交通戦略に基づく取り組み
- ・都市・地域総合交通戦略策定状況(H28.4 現在)
【富山市総合交通戦略】、【岐阜市総合交通戦略】

2. 公共交通の導入

- ・都市内公共交通の体系
- ・日本の都市交通システム
- ・まちづくりと都市モジュール整備(沖縄都市モジュール)
- ・路面電車の歴史
- ・まちづくりを担う公共交通としてのLRT 導入の必要性
- ・路面電車・LRT等の全国分布状況
- ・【LRT】富山市LRT 整備事業の概要
- ・【LRT】札幌市路面電車のループ化事業の概要
- ・【LRT】福井市相互乗入・駅前広場乗入事業の概要
- ・【LRT】宇都宮市・芳賀町LRT 導入の検討状況
- ・BRTの特徴
- ・BRT 導入による効果
- ・BRTの全国の導入状況
- ・【BRT】新潟市BRT 導入の概要
- ・交通結節点とは？
- ・駅前広場計画の考え方(交通処理機能・環境空間・空間配置)
- ・交通結節点の空間配置

3. 駐車場施策

- ・駐車場法の制定
- ・駐車場法の概要
- ・駐車場整備状況(平成26年度末)
- ・自動車保有台数と駐車場台数の推移
- ・自動車台数1万台当たりの駐車台数の推移
- ・コイン式駐車場の車室数の推移
- ・東京特別区における瞬間路上駐車台数の推移
- ・大阪府における瞬間路上駐車台数の推移
- ・今後の駐車場政策の方向性
- ・駐車場マネジメント(配置適正化)のイメージ
- ・目指すべき都市構造
- ・改正都市再生特別措置法(平成26年8月1日施行)
- ・駐車場配置適正化区域のポイント

■分科会(グループ討議)について

前回の勉強会でご説明したとおり、今後2年間は、会の活動の主力をまちづくり会社の今後の役割の掘り下げに係る討議、研究、レクチャーなどとする事となりました。一定の成果があれば、外部提言なども検討しております。また、会員の属性や境遇も多岐にわたるため、今回の勉強会では人口規模等に応じグループ分けを行い、テーマ別に分科会を実施いたしました。

講演会の内容を参考にし、テーマごとにまちづくり会社としてどのように関わっていくのか、あるいは国の施策や制度をどのように活用し、必要であれば要求していくの

かについて議論を行いました。

〈1日目〉「観光まちづくりについて」

1日目は、「観光まちづくりについて」をテーマとした分科会を開催しました。参加した21団体37名を6グループに分け、グループ討議を行いました。

2日目の最初に、各グループで出された意見について発表を行いました(発表内容はHPでご覧いただくことが出来ます)。

〈2日目〉「公共交通と拠点駐車場について」

2日目は、「公共交通と拠点駐車場について」をテーマとした分科会を開催しました。参加した16団体30名を5グループに分け、グループ討議を行いました。

討議終了後、各グループで出された意見について発表を行いました(発表内容はHPでご覧いただくことが出来ます)。

■参与会員からの活動紹介

「中心市街地活性化における公的セクターの支援について」

■最後に

第19回勉強会では、分科会のテーマごとに、今後のまちづくり会社の関わり方などについて討議をしていただきました。事務局として至らぬ点があったかと思いますが、皆様のご協力により、無事に会を執り行うことができました。本当にありがとうございました。

次回は2017年春頃に勉強会を予定しております。

詳細が決まりましたら、メールやホームページ等でご連絡させていただきます。残念ながら今回ご出席いただけなかった会員の皆様をはじめ、多数の方々の参加をお待ち申し上げております。